



熱中・没頭する学びの場が  
ここにはある

研究主題  
生涯にわたって  
学び続ける  
生徒の育成  
— 実感・自己理解としての  
「語り」が生まれる情意へのアプローチ —

令和6年度 教育研究発表会のご案内

令和6年6月7日(金)  
8時30分～16時35分  
香川大学教育学部附属坂出中学校

後援  
香川県教育委員会、坂出市教育委員会  
宇多津町教育委員会、綾川町教育委員会  
香川県中学校長会、坂出市中学校長会、綾歌郡中学校長会  
香川県中学校教育研究会、香川県中学校教育研究会坂出・綾歌支部

【シンポジウム・講演】

シンポジウムテーマ

「授業づくりを語る～子どもとともに主体的な学びの場を創る～」



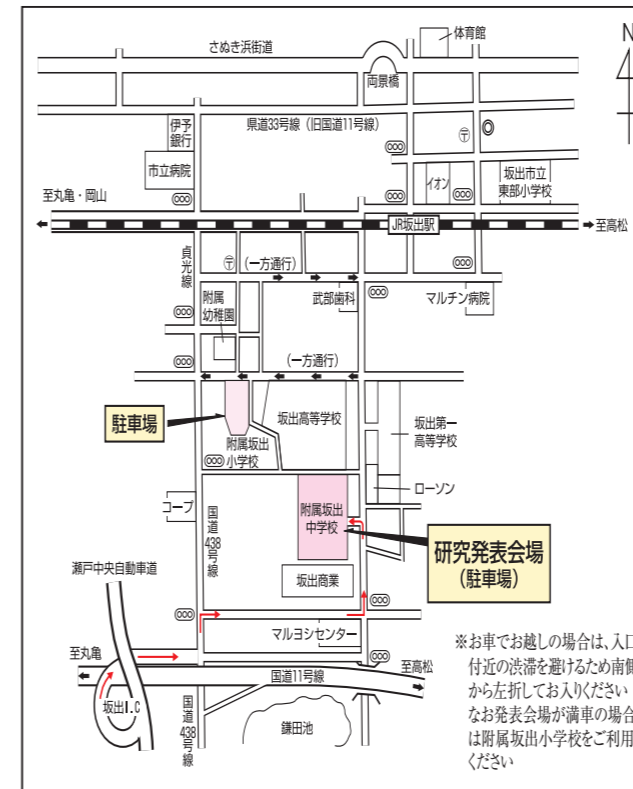
講師  
慶應義塾大学 教職課程センター  
教授 鹿毛 雅治

プロフィール

慶應義塾大学教職課程センター教授。神奈川県生まれ。横浜国立大学教育学部心理学専攻卒業。慶應義塾大学大学院社会学研究科教育学専攻修士課程修了、同博士課程単位取得退学。日本学術振興会特別研究員、慶應義塾大学教職課程センター助手、専任講師、助教授、スタンフォード大学心理学部客員研究員、東京大学大学院教育学研究科客員教授等を経て現職。95年「内発的動機づけに及ぼす教育評価の効果」で博士(教育学)。専門は教育心理学(特に、学習意欲論、授業論)。主な著書に『学習意欲の理論』(金子書房)、『授業という営み』(教育出版)など

本校の研究に寄せて

「主体的、協働的に学ぶ」とはどういうことなのか—それを知りたいのであれば、ぜひ香川大学教育学部附属坂出中学校を訪れるべきだろう。一人ひとりの生徒が生き活きと学びに向かう姿とそれを支える教育環境の在り方にその答えが見出せるはずである。これこそ近未来の中学校の姿なのだ。



申し込み方法

参加を希望される方は、申込書(別紙)に必要な事項をご記入の上、5月23日(木)までに郵送またはファックスにてお申し込みください。また、本校ホームページから申し込むこともできます。

■備考

参加料・資料代：無料  
昼食：事前申し込みにより昼食を販売致します。

■アクセス

鉄道：JR坂出駅より徒歩5分  
自動車：坂出インターより5分  
飛行機：高松空港から車で40分  
※車でお越しの際は、東側よりお入りください。

※今後の社会情勢により、開催方法を変更することもございますので、本校のホームページを随時ご確認くださいませようお願いいたします。



(本校HPのQRコード)



香川大学教育学部附属坂出中学校

〒762-0037 香川県坂出市青葉町1番7号  
TEL:0877-46-2695 FAX:0877-46-4428

<http://www.sch.ed.kagawa-u.ac.jp/sakachu@ed.kagawa-u.ac.jp>



公開授業Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ および 教科研究協議会

国 語	
〈研究テーマ〉 言語による認識の力をつけ、豊かな言語文化を育む国語教室の創造 ―「遊び」のなかで言葉や読み方を捉え直す国語科授業の在り方―	
<b>■公開授業Ⅱ</b> 3年「俳句」	授業者：山 崎 大
日本文学の最短詩型である「俳句」。言葉を極限まで削ることで、言葉一つ一つが大きな役割を担っています。僅か十七音に込められた作者の思いや物語を想像するとともに、創作活動で言葉を吟味することを通して、言葉の面白さや魅力について捉え直す授業をめざします。	
<b>■公開授業Ⅲ</b> 2年「かつこいいとは―君は『最後の晚餐』を知っているか―」	授業者：高 木 千 夏
筆者の価値観の根拠や具体例、文章の構成や言葉の用い方に注目して、評論の在り方を吟味します。絵画「最後の晚餐」をプレゼンするという活動を通して、テキスト（本文）を何度も読むことで、筆者の示す物事への価値について自らの既有知識と関わらせながら変容していく生徒の姿をめざします。	
<b>■研究協議会</b>	〈指導者〉 香川県教育委員会事務局義務教育課 香川大学教育学部 主任指導主事 講師 尼子 智悠 浅井 哲司

外国語	
〈研究テーマ〉 コミュニケーションの喜びを実感する英語授業の創造 ―自分の考えや気持ちを伝えるための試行錯誤を通して―	
<b>■公開授業Ⅱ</b> 3年「記者会見―聞き取った情報を伝達しよう―」	授業者：高 木 将 志
コミュニケーションは一方的な言葉の伝達ではありません。自分の意見を言ったり、聞いたりするだけでなく、相手から聞き取った情報を誰かに伝達する力は、コミュニケーションにおいて大切な力です。聞き取った情報を自分なりの表現で伝える喜びの実感をめざします。	
<b>■公開授業Ⅲ</b> 2年「FSJツアーズ ―Plan a trip in Kagawa!―」	授業者：石 田 吏 沙
中学生は限られた語彙や文法でコミュニケーションを行わざるを得ません。自分が伝えたいことを伝えるためにはどうすればよいかを、他者とのやり取りを通して考えます。様々な試行錯誤を通して自分の考えや気持ちを伝えることで、コミュニケーションの喜びの実感をめざします。	
<b>■研究協議会</b>	〈指導者〉 香川県教育委員会事務局義務教育課 香川大学教育学部 主任指導主事 教授 眞鍋 容子 中住 幸治

社 会	
〈研究テーマ〉 これからの社会のあり方を自ら考える民主社会の形成者の育成をめざした社会科学習 ―本質的な問いについて、互いの「社会観」を語り合うことを通して「社会的自己」を捉え直す―	
<b>■公開授業Ⅱ</b> 2年「キリスト教と戦国日本」	授業者：藤 本 大 貴
今から約500年前、戦国の世に突如現れた南蛮船と宣教師。当時の為政者が彼らとどう関わったのかを学び、そして戦国の世を終わらせた豊臣秀吉は彼らとどう関わるべきか、語り合いながら、多文化共生について捉え直していきます。	
<b>■公開授業Ⅲ</b> 1年「EUと難民のものがたり（ヨーロッパ州）」	授業者：大 西 正 芳
他に例がない政治・経済共同体として発展を遂げてきたEU。一方で、人や材、そして難民の偏在から域内の対立は先鋭化している。EUが抱える問題と国家間の対立について語り合いながら、日本という国を新たな視点で捉え直していきます。	
<b>■研究協議会</b>	〈指導者〉 香川県教育委員会事務局義務教育課 香川大学教育学部 主任指導主事 准教授 吉村 龍 神野 幸隆

保健体育	
〈研究テーマ〉 健康やスポーツの価値を実感する保健体育学習のあり方 ―自分の「からだ」を土台として健康やスポーツと関わることで生まれる「ものがたり」を通して―	
<b>■公開授業Ⅱ</b> 3年「球技：バドミントン」	授業者：徳 永 貴 仁
ラケット競技の難点はまず当たらないこと。その難点を教材化されたバドミントンで解決し、全員がバドミントンで学ぶべき「豊かなスポーツライフの本質のひとつ」を楽しむことができます。その本質のひとつとは・・・	
<b>■公開授業Ⅲ</b> 2年「球技：ハンドボール」	授業者：廣 石 真 奈 美
誰もが「得点に関わるプレーに参加する」喜びを。なかまと大量得点を目指して試行錯誤していく中で、ゴール型球技の本質に触れて、全力で楽しむ姿をめざします。	
<b>■研究協議会</b>	〈指導者〉 香川県教育委員会事務局保健体育課 香川大学教育学部 指導主事 教授 増田 一仁 米村 耕平

数 学	
〈研究テーマ〉 疑問や気づきを自ら生み出す生徒の育成 ―数学をつないで語ることで生まれる「ものがたり」を通して―	
<b>■公開授業Ⅱ</b> 2年「平行と合同」	授業者：中 居 朋 子
学習の中で、「なぜ?」「どうして?」と疑問をもつ場面を大切にしていきます。本単元では、平面図形の中にある生徒の当たり前に着目し、生徒の情意に寄り添いながら論理的に考察する活動を行います。	
<b>■公開授業Ⅲ</b> 3年「計算マスターへの道」	授業者：松 添 啓 子
計算はその計算方法を覚えて計算できればいいと考える生徒が多いのではないのでしょうか。本単元では、生徒が自ら疑問を生み出し、解決に向けて自分自身や友達と語ることで「なぜその方法で計算できるのか」を考えていきます。	
<b>■研究協議会</b>	〈指導者〉 香川県教育委員会事務局義務教育課 香川大学教育学部 香川大学教育学部 主任指導主事 教授 准教授 太田 隆志 松島 充 杉野本 勇気

技術・家庭	
〈研究テーマ〉 生活を見つめ、持続可能な未来へつながる実践力を育む 技術・家庭科教育 ―生活を語り合い、問題解決を実践することで生まれる「ものがたり」を通して―	
<b>■公開授業Ⅱ</b> 1年「サスティナブル和文化」	授業者：大 西 昌 代
どうすれば持続可能な衣生活を送ることができるのでしょうか。和服を通して、江戸時代の衣生活と比較しながら、これからの自分の衣生活について見つめ直します。	
<b>■研究協議会</b>	〈指導者〉 香川県教育委員会事務局 香川大学教育学部 西部教育事務所 主任指導主事 准教授 田中 明日香 一色 玲子
<b>■公開授業Ⅲ</b> 1年「構造と強度」	授業者：加 部 昌 凡
同じ素材、同じ量、でも構造を変えると、強度が変わる。限られた材料で最良の強度を得られる構造とは。	
<b>■研究協議会</b>	〈指導者〉 香川県教育センター 香川大学教育学部 指導主事 教授 稲毛 晶 宮崎 英一

「語り合い」の時間（1年）	
<b>■公開授業Ⅰ</b> 答えのない問いに対して、生徒同士で自身の経験や価値観をもとに語り、聞きあいます。その中で、問いについて真剣に考え、自身の変容や成長を自覚していきます。入学したばかりの1年生に、教師がかわりながら、一緒に語り合っていきます。	授業者：逸 見 翔 大



理 科	
〈研究テーマ〉 進んで自然と関わり、見通しをもって探究する生徒の育成 ―科学する共同体の中でつむがれる「ものがたり」を通して―	
<b>■公開授業Ⅱ</b> 1年「タンポポ」	授業者：島 根 雅 史
タンポポを採集し、観察する中で、外来種と在来種があることに気づきます。外来種が増加してきた理由を、タンポポの花や綿毛について、在来種と比較し、仮説を立て、試行錯誤しながら考えていく姿をめざしています。	
<b>■公開授業Ⅲ</b> 3年「作用・反作用の法則」	授業者：宮 崎 浩 行
体重計は何を測っているのか。質量なのか、それとも別の何かなのか。誰しものが使用したことのある体重計に隠された仕組みを探究していく中で、普遍的な法則である「作用・反作用の法則」を見出していくことをめざします。	
<b>■研究協議会</b>	〈指導者〉 香川県教育委員会事務局義務教育課 香川大学教育学部 主任指導主事 教授 橋 慎二郎 笠 潤 平

音 楽	
〈研究テーマ〉 音楽との関わりを深める学習のあり方 ―音楽観の捉え直しや変容からつむがれる「ものがたり」を通して―	
<b>■公開授業Ⅲ</b> 1年「赤とんぼ」	授業者：井 上 真 衣
誰もが知っている名曲「赤とんぼ」。詩の背景を探る中で、生徒と共に心情に迫る歌唱表現を追究します。音楽の奥深さに触れ、心弾む時間を実現させます。	
<b>■研究協議会</b>	〈指導者〉 香川県教育センター 香川大学教育学部 主任指導主事 教授 井川 史郎 岡田 知也

美 術	
〈研究テーマ〉 感性を働かせ、自分にとっての美を更新する創造活動 ―自己や周囲との関わりを通して変容する感性に気づく授業づくりをめざして―	
<b>■公開授業Ⅲ</b> 3年「〇〇な空間～本校校舎と香川県庁東館～」	授業者：渡 邊 洋 往
自分を取り巻く風景の一つとしか捉えてなかった本校校舎を、県庁東館の鑑賞や校舎空間の考察を通して、願いをもとにつくられた建築空間について捉え直します。本校はこうあってほしいという自分たちの願いをもとに、空間を再考するアイデアを練ります。	
<b>■研究協議会</b>	〈指導者〉 高松市総合教育センター 香川大学教育学部 指導主事 准教授 熊田 知香 吉川 暢子

学校保健	
〈研究テーマ〉 「チーム学校」として取り組む教育相談 ―羅生門的アプローチを援用した教育相談体制と継続的な支援―	
発表者：高 橋 妹 子	
見る立場によってストーリーが変わることを重視する「羅生門的アプローチ」を援用することで、ナラティブ・アプローチを重視した教育相談体制の充実を図り、今後の教育相談のあり方と、教育相談委員会の役割について考察します。	
<b>■研究協議会</b>	〈指導者〉 香川県教育委員会事務局保健体育課 香川大学大学院医学系研究科臨床心理学専攻 指導主事 心理実践教育学講座 准教授 山田 那央子 谷 渕 真 也

時 程													
8:30	9:00	9:30	10:00	10:15	11:05	11:20	12:10	13:00	13:50	14:00	15:00	15:15	16:35
受 付	全 体 会	全 体 提 案	移 動 ・ 休 憩	公開授業Ⅰ	移 動 ・ 休 憩	公 開 授 業 Ⅱ	昼 食 ・ 休 憩	公 開 授 業 Ⅲ	移 動 ・ 休 憩	教 科 研 究 協 議 会	移 動 ・ 休 憩	シンポジウム・講演 「授業づくりを語る ～子どもとともに 主体的な学びの場を 創る～」 慶應義塾大学教授 鹿毛 雅治 先生	
				語り合いの 時間								学校保健研究協議会	
				CAN 生徒発表									
				授業討議動画・CANステージ発表動画・CAN物語、CANLOGの公開									